

事業番号	09 04 22	事業改善シート（28年度実施事業分）		■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	自給飼料増産対策事業			担当課	部局	農政部	
					課・局・室	園芸畜産課	
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	1-3夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産			実施期間	H21 ~	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-3 活力と循環の信州経済の創出					
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 ア 県内産業の競争力強化 ウ 農業の競争力強化					

1 事業の概要

目指す姿	輸入飼料に依存しすぎない畜産経営を目指し、栄養価の高い県オリジナル品種の作付けや飼料用稲の活用により、自給飼料の増産を推進し、飼料高騰に負けない畜産経営を確立する。												
現状（予算編成時）	<p>○輸入飼料価格の高止まりにより、畜産の経営費に占める飼料費の割合が増大している。</p> <p>○また、畜産物の販売価格は横ばいのため、飼料コストのアップが畜産経営を圧迫し、農家所得を減少させている。</p>												
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】											
	県民との協働による実施：実施は困難	<ul style="list-style-type: none"> ・自給飼料を増産することについては、農地確保や高性能な機械導入など、県も含めて関係機関と連携した支援が必要となるため。 ・第2期長野県食と農業農村振興計画（自給飼料増産プロジェクト） 											
成果目標・事業内容	① 成果目標（H28）												
	<p>自給飼料を増産するため、次の取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県オリジナル飼料作物モデルほ場の設置（県下4か所） ○県オリジナル品種の普及と飼料用稲の活用促進により、自給飼料の作付けを推進 ○自給飼料の品質向上を目的とした共励会の開催 												
	② 事業内容 (単位:千円)												
		項目	実施方法	H28実施内容	H27 (当初)	H28 (要求)		(予算案)					
	推進事業	直接	①自給飼料増産推進会議の開催 ②モデルほ場の設置 ③飼料づくりコーディネーターの設置 ④自給飼料共励会の開催	2,845	2,839								
			合計	2,845	2,839		0						
事業コスト	区分(単位:千円)		26年度	27年度	28要求	28予算案	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越					項目	H26末	H27末 (見込)	H28			H29 目標
		当初予算	2,890	2,845	2,839	目標				成果	達成状況		
		補正予算											
		合計(A)	2,890	2,845	2,839	0							
	Aの財源	一般財源	1,601	1,601	1,488		モデルほ場の設置	4か所	4か所	4か所			
		県債					農家1戸当りの飼料作付面積	742a	799a	830a			
		国庫支出金					県オリジナル品種の作付拡大	48ha	21ha	-			
		その他	1,289	1,244	1,351	0	飼料用稲の作付拡大	86ha	236ha	-			
	決算額(B)	2,550											
概算人件費	職員数(人)	0.30	0.30	0.30									
	概算人件費(C)	2,477	2,477	2,477	0								
概算事業費(B(A)+C)	5,027	2,477	2,477	0									
指摘事項等への対応		(指摘事項等)			(対応)								
<input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善													
要求からの主な変更点													